

新しい民生委員児童委員さんが決まりました

(敬称略、任期：平成31年11月末日まで)

◆東和地区

(平成30年7月1日付け)

・長和 達平(油宇17区)

【担当地区：油宇15区、油宇16区、油宇17区】

(平成30年10月1日付け)

・向井 ひとみ(平野防河内)

【担当地区：平野江口、平野為栗、本平野、平野防河内】

◆問い合わせ 福祉課 ☎0820(77)5505

平成31年版 山口県民手帳を販売します

サイズ 縦14×横8センチメートル

販売価格 550円(税込み)

取扱期間 11月中旬～平成31年1月末

取扱窓口 政策企画課(大島庁舎)、
久賀・東和・橘の各総合支
所、出張所

問い合わせ 政策企画課

☎0820(74)1007

28 周防大島の文化財

水無瀬島のアコウ自生地帯

アコウは熱帯系のクワ科の植物で、南方の奄美、琉球方面に行くほど多くなる樹木です。南からの温かい海流が豊後水道を通過して入り、防予諸島を直撃します。周防大島町や柳井市平郡島・掛津島、上関町の島々などには熱帯系の植物が見られます。アコウはその代表的なもので、小水無瀬島、大水無瀬島で最初に、のちに祝島、掛津島で発見されました。小水無瀬島と大水無瀬島は昭和41年6月10日、山口県の天然記念物に指定されました。



▲岩場に生息するアコウ



▲アコウの花のう(果のう)

小水無瀬島には南東側の船着場があります。そこから上り非常に危険な岩場を西側にまわると熔岩の固まった大きな集塊岩の斜面になっています。そこに高さ0.5～2.5m、枝張り3～4mのアコウが点々と繁っています。植物体の根元が岩場からみついて育っているのと、風が強いので上記のように背が低く横に広がった姿になったのです。この姿は宮本常一記念館に植えてある背の高いものと大きく異なります。

山口県のアコウは先述のように、水無瀬の二つ島の他に、柳井市掛津島、上関町祝島などにあります。祝島のものは上関町の天然記念物、掛津島のものは「やないの名木」となっています。

水無瀬島にはなかなか渡れないので、まずは身近な宮本常一記念館のアコウを見てみましょう。「花のう(果のう)」が直接幹に着いています。これは熱帯、亜熱帯系植物の特徴です。「花のう(果のう)」というのは、袋のようなものの中に多くの花が出来て、実になるものです。イチヂクと同じものです。

《周防大島町文化財保護審議委員 副会長 南 敦》